



代表取締役会長 長谷川宗平

代表取締役社長 飯塚 実

信 頼

私たちは経営理念である“世界中、すべてのお客さまに「信頼」でお応えする。”を礎として、誠実かつ公正な事業活動による持続的成長を通じて継続的な利益の創出と社会貢献を実践し、企業価値を向上させるとともに、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。

◆「ものづくり」を極める

私たち大真空はエレクトロニクス社会の発展に貢献したいとの思いから、常に新しい価値をお客さまに提供することを重要な使命の一つとし、研究開発を行ってまいりました。お客さまの満足度をより高めるため、これまでに培ってきた製造技術やノウハウを活かし、さらなる進化を目指しています。

お客さまから「信頼」を得るには、メーカーとして製品品質の向上は欠かせません。私たちは部品メーカーとして、永遠の課題であるZero Defect（不良ゼロ）に改めて取り組むとともに、創業から続く「想像と創造」という「ものづくり」精神で「イノベーション」を起こし、お客さまに満足いただける「ものづくり」を極めてまいります。私たちが開発した第3世代の水晶デバイス「Ark.3Gシリーズ」は、使用部材の削減や製品サイズの小型／薄型化などの環境面に加え、ウェハレベルパッケージを採用することにより、真空中でウェハ洗浄から貼り合わせまで行えるため、品質リスクも低減できる優れた製品であると自負しています。

また、環境保全活動を重要な経営方針の一つと捉え、水晶デバイスの開発、製造、販売などすべての企業活動領域において、①環境負荷物質削減などの「製品の環境配慮」、②地球温暖化防止や廃棄物削減などの「事業活動での環境配慮」、③各拠点における地域貢献活動の「コミュニケーション」、④グループ内環境経営体制の構築や環境教育などの「環境経営」を四つの環境ビジョンとして定めており、地球環境保全に対する取り組みを推進しています。

◆「ひとづくり」を極める ～「人材」から「人財」へ～

真のグローバル企業として継続的に発展するため、「健康経営の推進」や「多様な人材の採用・活躍の推進」などを基盤とした、「人財マネジメント」に積極的に取り組んでいます。国籍・人種・性別などを問わず、一人ひとりの能力を発揮できる環境を提供し、独自の教育プログラムに基づき自助自立・自己完結を基本として行動できる「人財」を育むとともに、各地の文化や地域性に根付いた活動をさらに強化し、これまで以上の成果に繋げるべく「ローカライゼーション」を推進しています。また、経営理念の共有や各拠点とのより強固なコミュニケーションを醸成するための橋渡し役となる「ブリッジ人財」の育成にも注力しています。

さらに、「あるべき人財像／目指すべき姿」を明確にし、自己のキャリア形成をよりイメージしやすくするための教育プログラムの構築や、自己啓発プログラムによるサポート体制を充実させるなど、人財教育／育成により社員の活躍するフィールドをさらに広げることで、めまぐるしく変化する環境や市場ニーズにお応えしてまいります。

◆ステークホルダーの皆さまへ

1959年の創業以来、私たち大真空は「信頼される人」「信頼される製品」「信頼される企業」という三つの「信頼」の理念のもと、高度化する時代のニーズに応える製品づくりに励み続け、2019年11月3日、創業60周年を迎えることができました。この日を迎えられるのも、ステークホルダーの皆さまの支えがあったからこそであり、心より感謝申し上げます。これを機に、当社初となる10年長期経営計画「OCEAN+2戦略」を策定しました。既存ビジネスを軸に「OCEAN+2戦略」を展開し、これまで培ってきた人工水晶の育成／加工技術を含む「ものづくり」を極めながら付加価値を創出することにより、タイミングデバイスマーケットでこれまで以上に存在感を高めてまいります。これからもCSR活動を通じてステークホルダーの皆さまとコミュニケーションを深めながら、新たな価値を生み出し、経済・社会・環境の側面から継続的な社会の発展に貢献し続けることができる企業を目指してまいります。そして、「社員全員が瞳を輝かせながら、エレクトロニクス社会の発展を支え、社会から必要とされる企業」を目指し、次の100周年に向けて邁進してまいります。

今後とも末永く皆さまのご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。